

参照枠	レベル 設定	到達目標	1週あたりの 授業時間	期間	合計授業時間
A2	初級2	<聞くこと> もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。(A2.2 包括的な聴解) <読むこと> よく使われる語で書かれた、短い簡単なテキストが理解できる。(A2.1 包括的な読解) 日常の看板や提示を理解することができる。公共の場所、例えば、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板や掲示が理解できる。(A2世情を把握するために読むこと) <やり取り> 仕事や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社交的なやり取りには対応できる。(A2.1 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 事項を列挙して簡単に述べたり、物語ることができる。自分の周りの環境、例えば、人や場所、仕事、学習経験などの日常を述べることができる。(A2.2長く一人で話す:経験談) <書くこと> 自分の周りにある日々のいろいろな事柄、例えば、人物、場所、仕事や学習経験などについて、つながりのある文を書くことができる。(A2.2 創作)	20単位時間	9週	180単位時間
A2～B1	初中級	<聞くこと> もし、はっきりと共通語で発音されるならば、ごく身近な話題についての簡単な短い話の要点を理解できる。(B1.1 聴衆の一人として生で聞くこと) <読むこと> 非常によく用いられる、日常的な言葉で書かれた、具体的に身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。(A2.2 包括的な読解) 手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し理解できる。(B1.1 世情を把握するために読むこと) <やり取り> もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、あらかじめ決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。あまり苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況であれば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。(A2.2 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 出来事や活動の要点を短く述べることができる。計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験を述べるができる。簡単な記述的な言葉を用いて、事物や所有物について短く述べたり、それらを比較できる。(A2.2長く一人で話す:経験談) <書くこと> 出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。(A2.2 創作) <社会言語的な適切さ> 明示的な礼儀習慣を認識しており、適切に行動できる。	20単位時間	9週	180単位時間
B1	中級1	<聞くこと> 短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面でふだん出会う、ごく身近な事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。(B1.1 包括的な聴解) <読むこと> 簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。(B1 包括的な読解) 必要な情報を見つけるためにテキストにざっと目を通し、テキストの様々な部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。(B1.2世情を把握するために読むこと) <やり取り> 興味のある話題について議論する際に、自分の個人的見方や意見を示したり、尋ねたりすることができる。(B1.1 非公式の議論(友人との)) 他人の見方に対して簡単なコメントができる。(B1.2 非公式の議論(友人との)) <発表> 自分の関心のある様々な話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。その際、事柄の提示は直線的に並べるにとどまる。(B1 総合的な口頭発表) <書くこと> 一連の短い別々になっている要素を一つの流れに結び付けることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。(B1 総合的な書く活動)	20単位時間	9週	180単位時間

B1	中級2	<聞くこと> 毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、大体が耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。(B1.2 包括的な聴解) 比較的ゆっくりとはっきりと話された、ごく身近な話題に関するラジオの短いニュースや、比較的簡単な内容の録音された素材なら、主要な点は理解できる。(B1.1 音声メディアや録音を聞くこと) <読むこと> 生の文章(少しリライトされた易しめの文章)を読んで、要点や筆者の主張・意図・メッセージがつかめる。(B1.1 『読む力 初中級』) <やり取り> 単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に何とか対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、又は日常生活に関する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。(B1.2 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 事柄を直線的に並べていって、比較的流ちょうに、簡単な語り、記述ができる。予測不能の出来事(例えば事故など)を、順序だてて詳細に述べるができる。夢や希望、野心を述べるができる。(B1 長く一人で話す:経験談) <書くこと> 関心を持つ話題についての短い簡単なエッセイを書くことができる。(B1.2 レポートやエッセイ)	20単位時間	11週	220単位時間
B1～B2	中上級	<聞くこと> もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性が何らかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れも理解できる。(B2.1 包括的聴解) はっきりとした共通語で話された、個人的に興味がある話題であれば、録音され、放送された音声素材の大部分の情報の内容を理解できる。(B1.2 音声メディアや録音を聞くこと) <読むこと> 比較的身近なテーマのコラム・エッセイ・伝記・対話を読んで、事実関係や物事の経緯、著者の主張や意図が把握できる。(B1.2 『読む力 中級前半』) <やり取り> 自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信をもって話合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。余り日常的でない状況にも対処し、問題のありかを説明できる。(B1.2 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 自分の関心のある分野関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べるができる。(B2 長く一人で話す:経験談) <書くこと> 自分が関心を持つ身近な話題について、複雑ではないが、詳しく記述することができる。単純につなぎ合わせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。現実のことであれ想像上のことであれ、最近行った旅行や出来事を記述できる。(B1 創作)	20単位時間	11週	220単位時間
B1～B2	上級1	<聞くこと> 共通語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。(B2.1 包括的な聴解) <読むこと> 新聞・雑誌のコラムや解説文、教養書を読んで、詳細な事実関係や現状、展望、背景、因果関係、理由、根拠などが把握できる。(B2.1 『読む力 中級』後半) <やり取り> 熟達した日本語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流ちょうに自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。(B2.1 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。(B2.1 総合的な口頭発表) 本や映画の筋を順序立てて話し、それに対する自分の考えを述べるができる。(B1 長く一人で話す:経験談) <書くこと> エッセイやレポートを書くときに、根拠を示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、様々な選択肢の利点と不利な点を説明できる。(B2.1 レポートやエッセイ)	20単位時間	11週	220単位時間
B2	B2.2	<聞くこと> 生であれ放送であれ、身近な話題でなくても、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出会う話題について、共通語で話されれば理解できる。(B2.2 包括的な聴解) <読むこと> 抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる。(B2.2 『読む力 中上級』より) <やり取り> 一般的、学術的、職業上、若しくは余暇に関する幅広い話題について、流ちょうに、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。(B2.2 一般的な話し言葉のやり取り) <発表> 記述とプレゼンテーションを明確に体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。(B2.2 総合的な口頭発表) <書くこと> 論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。(B2.2 レポートやエッセイ)	20単位時間	11週	220単位時間